

音瀬総務部長 着任あいさつ



10月4日、音瀬総務部長が来所され
着任のご挨拶をいただきました。

この挨拶の中で「ダム管理の難しさがあるうかと思いますが、皆様方の努力によって適正に管理なされているとお伺い致しまして心強く思いました。最前線で頑張っておられる皆さん方の努力が地域の方に評価され、国民に支持されるということを通じて国土交通省のイメージも上がっていくと思います。今後さらに努力を積み重ねていただき地域に愛されるダム、地域に評価されるダムということで頑張っていたきたいと思います。」と述べられました。

(ご挨拶より要約)

～ JAICA研修生 視察 ～

10月3日、東南アジアなど10カ国の技術者や研修者11名が三春ダム管理所に視察研修に訪れました。はじめに管理所内会議室において、三春ダムの概要や事業内容等の説明が行われました。また、ダムコンや堤体、発電所などの施設の見学も行われ、質問の回答や母国のダム建設との相違点などを聞くことができました。



会議室で三春ダムの概要、事業内容を説明する長岐係長



操作室でダムコンの説明をする木村係長



堤体内の各施設や発電所の説明をする若林係長



堤体内の見学の様子



資料館での見学の様子

資料館見学では、三春ダム(さくら湖)の全景の展示物を観て、入り組んだ水際線を珍しそうに見つめる姿がみられました。



さくら湖自然環境フォーラム2005 開催

去る17年11月24日、三春交流館まほらホールにおいて、「さくら湖自然環境フォーラム2005」が開催されました。

さくら湖自然環境フォーラムとは、平成12年に開始され、当初5ヵ年はさくら湖の自然環境の変化や保全の方向性を示す目的で開催されてきました。

昨年、一区切りを終了し新たな題材、自然環境・地域連携・環境学習に繋がるよう継続することとなり、今年は「自然環境と地域の活性化について考える」を主題材として開催されました。

フォーラムには、流域小学生の研究発表・専門分野の方々の研究報告、また、基調講演やパネルディスカッションと様々な分野、年代の皆様から貴重な発表をして頂きました。

以下に概要を記載させていただきます。

開会のあいさつ

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会会長
三春町長 鈴木 義孝 氏
「皆様の貴重な発表の数々を楽しみにしております。」



研究報告 1 「身近な川の観察を通じて見えてきたこと」



応用生態工学研究所員
熊澤 一正 氏



田村市立牧野小学校
6年生の皆さん



三春町立中妻小学校
4年生の皆さん



三春町立三春小学校
5年生の皆さん

内容のレベルは年を追う毎に高くなっているようで感心させられました。

研究報告 2 「大滝根川流域の自然（動物、植物）の紹介 —ガイドブックの紹介—」



応用生態工学研究所員 影山 奈美子 氏

流域の環境調査等で生息・植生が確認されたものを
ガイドブックにとりまとめたものの紹介です。
このような種が流域にはいるのかと新たな知見をいただきました。

研究報告 3 「大滝根川の現状と前貯水池の機能」

日本大学大学院 手塚 公裕 氏

日本大学で長きに渡って調査研究を続けている
前貯水池の機能効果についての報告、継続して
行っている調査ですから内容は重く受け止め
られたことでしょう。



紹介 1 「さくら湖自然観察ステーションの環境学習の紹介」



三春町教育委員会生涯学習課 山口 晋 氏

三春町で行っている学校等に対しての、環境学習についての紹介。
恵まれた環境学習対応はありがたいことです。

紹介 2 「開かれたダムとして実施していること」



国土交通省 三春ダム管理所
水質係長 長岐 岳彦 氏

三春ダムは周辺の環境を鑑み、地域に開かれたダム事業を実施しているそうです。自然を生かしエリア毎の目的意識は再発見でした。

基調講演 「阿武隈川流域の人と水辺のかかわり」

福島大学教授 鈴木 浩 氏

阿武隈川流域の人・水辺・社会環境について、講演頂きました。会場で聴講していた方からも質問が飛び交っていました。



紹介 3 「桜川の活動の紹介」



さくら川をきれいにする会
副代表 根本 紀 氏

地域の人々が桜川をきれいにするため行っている活動の数々、もっともっときれいになると良いですね。

紹介 4 「逢瀬川の活動の紹介」

逢瀬川ふれあい通り実行委員
長尾 トモ子 氏

逢瀬川をきれいするために立ち上がった一人の男性、故人の意志を継いで活動をしている方達の紹介です。



パネルディスカッション

「今後の大滝根川流域の川や自然とのふれあいを通じた地域活性や連携について」



コーディネーター／三春町児童生活センター 所長兼中央児童館館長
田部 洋靖 氏

パネラー／福島大学教授 鈴木 浩 氏

逢瀬川ふれあい通り実行委員（福島県議会議員）長尾トモ子 氏

日本大学講師 佐藤 洋一 氏

三春町立中妻小学校長 山田 玲子 氏

三春ライオンズクラブ会長（三春町議会議員）三瓶 正栄 氏

大滝根川流域の地域特性、また、ダム周辺の学習施設を用いた学習方法等をパネリストの方々の立場から討論頂きました。

閉会のあいさつ

さくら湖自然環境フォーラム実行委員会副会長
国土交通省三春ダム管理所長 山下 洋太郎 氏

本日発表された皆様、また、聴講して頂いた皆様に感謝の辞を述べると共に、来年度以降も継続をしていきたいとの事でした。





ミ〜ちゃん＆んくん

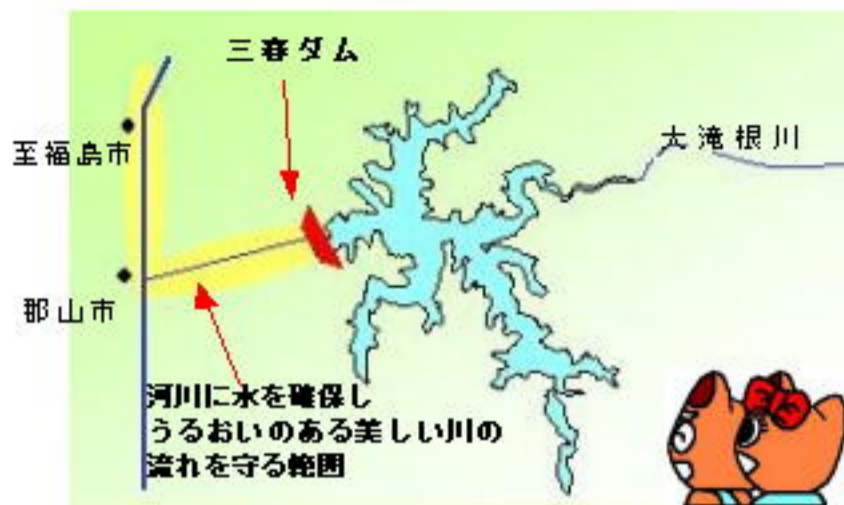
なぜ?なに?さくら湖



Q.どうしてダムから少しずつ水を出しているんですか?

A.ダムは水を貯めるだけではなくて、川の流を維持する働きもあります。晴天が続くと川の水が減少し動植物に影響を及ぼすことがあります。三春ダムでは最低でも1秒間に0.80m³(家庭のお風呂約5杯分)を大滝根川に流すよ

うに努めています。ダムには川にいつも決められた量の水が流れるように、魚や虫が住みやすく、草花が育ち、みんなが水遊びを楽しめるような美しい川を守る働きがあります。



自然観察ステーションからのお知らせ

<星を見る会>

1月13日(金)、21日(土)、27日(金)
午後7時~9時 ※荒天中止(曇天・風雪・雷など)

<巣箱づくり教室>

1月14日(土)午前9時~午後0時
シジュウカラやすめ用の巣箱を作ります。

<竹の工作>

1月21日(土)午前9時~午後0時
竹でソリ・竹スキーなどを作ります。

—お問合せは—
さくら湖自然観察ステーション
0247-61-1546
三春交流館まほら
0247-62-3837



資料館からのお知らせ

年末年始閉館のお知らせ



三春ダム資料館では、年末・年始の12月29日から1月3日の間、閉館とさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

平成17年度
「阿武隈川上流児童図画
コンクール」入賞作品展を
1月下旬から開催いたし
ます。お楽しみに!



10月の見学者

- 10月4日(火) 郡山市立守山中学校 1年生(15名)
- 10月7日(金) 西白河郡中島村立吉子川小学校 4年生(30名)
- 10月11日(火) 郡山市立東芳小学校 6年生(15名)
- 10月12日(水) いわき市職労退職者協議会 (60名)
- 10月13日(木) 三春町立御木沢小学校 4年生(24名)
- 10月19日(水) 県保育協議会県南支部 (54名)
- 10月21日(金) 新聞協会情報技術部会 東北地区協議会(20名)

11月の見学者

- 11月10日(木) 田村市立岩井沢小学校 4年生(12名)
- 11月16日(水) 石川町立母畑小学校 3、4年生(14名)
- 11月21日(月)(財) 新潟県消防協会 柏崎刈羽地区支会(11名)
- 11月23日(水) 三春町西方地区(49名)
- 11月30日(水) 三春町立中郷小学校 4年生(10名)



三春町西方地区のみなさんの見学の様子

編集後記

今年も残りあとわずか

となりました。あっという間の1年でしたが皆さんはいかがでしたか?なぜか歳を重ねるごとに1年を短く感じるのは私だけでしょうか。(石井)



編集・発行

国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報をお待ちしております。
〒963-7722

福島県田村郡大字西方字中ノ内 403-4
TEL 0247-62-3145 / FAX 0247-62-3170
ホームページアドレス

<http://www.thr.go.jp/miharu/>